

CASBEE-建築(新築)2016年版
(仮称)プレザンスロジェ向日市寺戸町

■使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2016年版
 ■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v4.01)

スコアシート		環境配慮設計の概要記入欄				評価点		重み係数		全体
配慮項目		評価点	重み係数	評価点	重み係数					
Q 建築物の環境品質										2.9
Q1 室内環境						2.40		3.4		
1 音環境						3.0	0.15	3.3	1.00	3.2
1.1 室内騒音レベル						3.0	0.49	3.0	0.50	
1.2 遮音						3.0	0.49	3.6	0.50	
1 開口部遮音性能						3.0	1.00	5.0	0.30	
2 界壁遮音性能						-	-	3.0	0.30	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)						-	-	3.0	0.20	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)						-	-	3.0	0.20	
1.3 吸音						3.0	0.01	-	-	
2 温熱環境						1.0	0.35	4.0	1.00	3.3
2.1 室温制御						1.0	0.50	4.0	1.00	
1 室温						1.0	0.62	-	-	
2 外皮性能						1.0	0.36	4.0	1.00	
3 ゾーン別制御性						1.0	0.02	-	-	
2.2 湿度制御						1.0	0.20	-	-	
2.3 空調方式						1.0	0.30	-	-	
3 光・視環境						2.2	0.25	3.3	1.00	3.0
3.1 昼光利用						1.8	0.31	3.0	0.30	
1 昼光率						1.0	0.57	3.0	0.50	
2 方位別開口						-	-	3.0	0.30	
3 昼光利用設備						3.0	0.43	3.0	0.20	
3.2 グレア対策						2.0	0.28	4.0	0.30	
1 昼光制御						2.0	1.00	4.0	1.00	
3.3 照度						2.0	0.14	3.0	0.15	
3.4 照明制御						3.0	0.26	3.0	0.25	
4 空気質環境						3.5	0.25	4.2	1.00	4.1
4.1 発生源対策						4.0	0.59	5.0	0.83	
1 化学汚染物質						4.0	1.00	5.0	1.00	
4.2 換気						3.0	0.39	3.0	0.38	
1 換気量						3.0	0.50	3.0	0.33	
2 自然換気性能						-	-	3.0	0.33	
3 取り入れ外気への配慮						3.0	0.50	3.0	0.33	
4.3 運用管理						1.0	0.01	-	-	
1 CO ₂ の監視						1.0	0.50	-	-	
2 喫煙の制御						1.0	0.50	-	-	
Q2 サステナビリティ						2.4	0.40	3.8	1.00	3.1
1 機能性						2.4	0.40	3.8	1.00	3.5
1.1 機能性・使いやすさ						3.0	0.40	5.0	0.60	
1 広さ・収納性						-	-	5.0	1.00	
2 高度情報通信設備対応						3.0	1.00	-	-	
3 バリアフリー計画						1.0	0.30	2.0	0.40	
1.2 心理性・快適性						1.0	0.02	3.0	0.50	
1 広さ感・景観						2.0	0.02	-	-	
2 リフレッシュスペース						1.0	0.97	1.0	0.50	
3 内装計画						3.0	0.30	-	-	
1.3 維持管理						3.0	0.50	-	-	
1 維持管理に配慮した設計						3.0	0.50	-	-	
2 維持管理用機能の確保						3.0	0.50	-	-	
2 耐用性・信頼性						3.0	0.30	-	-	3.0
2.1 耐震・免震・制震・制振						3.0	0.50	-	-	
1 耐震性(建物のこわれにくさ)						3.0	0.80	-	-	
2 免震・制震・制振性能						3.1	0.30	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数						3.1	0.30	-	-	
1 躯体材料の耐用年数						5.0	0.20	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔						2.0	0.20	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔						2.0	0.10	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔						3.0	0.10	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔						4.0	0.20	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔						2.0	0.20	-	-	
2.4 信頼性						3.0	0.20	-	-	
1 空調・換気設備						3.0	0.20	-	-	
2 給排水・衛生設備						3.0	0.20	-	-	
3 電気設備						3.0	0.20	-	-	
4 機械・配管支持方法						3.0	0.20	-	-	
5 通信・情報設備						3.0	0.20	-	-	

3	対応性-更新性		2.8	0.30	2.6	1.00	2.6
	3.1 空間のゆとり		2.8	0.02	2.2	0.50	
	1 階高のゆとり	2.81m(店舗3.7m)	4.0	0.60	3.0	0.60	
	2 空間の形状・自由さ	-	1.0	0.40	1.0	0.40	
	3.2 荷重のゆとり		3.0	0.02	3.0	0.50	
	3.3 設備の更新性		2.8	0.97	-	-	
	1 空調配管の更新性	-	3.0	0.20	-	-	
	2 給排水管の更新性	-	2.0	0.20	-	-	
	3 電気配線の更新性	-	3.0	0.10	-	-	
	4 通信配線の更新性	-	3.0	0.10	-	-	
	5 設備機器の更新性	-	3.0	0.20	-	-	
	6 バックアップスペースの確保	-	3.0	0.20	-	-	
Q3	室外環境(敷地内)		2.5	0.30	2.2	1.00	2.2
1	生物環境の保全と創出	-	1.0	0.30	-	-	1.0
2	まちなみ・景観への配慮	-	3.0	0.40	-	-	3.0
3	地域性・アメニティへの配慮		2.5	0.30	-	-	2.5
	3.1 地域性への配慮、快適性の向上	-	3.0	0.50	-	-	
	3.2 敷地内温熱環境の向上	-	2.0	0.50	-	-	
LR	建築物の環境負荷低減性						3.3
LR1	エネルギー		3.6	0.40	3.2	1.00	3.2
1	建物外皮の熱負荷抑制	断熱等性能等級4相当(添付書類:省エネ届計算結果集計表)	3.8	0.20	-	-	3.8
2	自然エネルギー利用	-	3.0	0.10	-	-	3.0
3	設備システムの高効率化	住戸BEI=0.93(添付書類:省エネ届計算結果集計表)	3.6	0.50	-	-	3.6
4	効率的運用		2.9	0.20	-	-	2.9
	集合住宅以外の評価		2.0	0.05	-	-	
	4.1 モニタリング	-	3.0	0.50	-	-	
	4.2 運用管理体制	-	1.0	0.50	-	-	
	集合住宅の評価		3.0	0.95	-	-	
	4.1 モニタリング	-	3.0	0.50	-	-	
	4.2 運用管理体制	-	3.0	0.50	-	-	
LR2	資源・マテリアル		3.3	0.30	3.0	1.00	3.0
1	水資源保護		3.0	0.20	-	-	3.0
	1.1 節水	全て節湯水栓あり(添付書類:資料)	3.0	0.40	-	-	
	1.2 雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60	-	-	
	1 雨水利用システム導入の有無	-	3.0	0.70	-	-	
	2 雑排水等利用システム導入の有無	-	3.0	0.30	-	-	
2	非再生性資源の使用量削減		3.3	0.60	-	-	3.3
	2.1 材料使用量の削減	-	2.0	0.10	-	-	
	2.2 既存建築躯体等の継続使用	-	3.0	0.20	-	-	
	2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.20	-	-	
	2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	府産木材(申請集計表)と断熱材(添付書類:カタログ)	4.0	0.20	-	-	
	2.5 持続可能な森林から産出された木材	-	3.0	0.10	-	-	
	2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	外壁内側はGL工法(住戸部すべて)(参照図:A-50部分詳細図)	4.0	0.20	-	-	
3	汚染物質含有材料の使用回避		3.6	0.20	-	-	3.6
	3.1 有害物質を含まない材料の使用	壁紙用接着剤(添付書類:安全シート)	4.0	0.30	-	-	
	3.2 フロン・ハロンの回避		3.5	0.70	-	-	
	1 消火剤	-	-	-	-	-	
	2 発泡剤(断熱材等)	ODP=0,GWP=3(添付書類:カタログ)	4.0	0.50	-	-	
	3 冷媒	管理室エアコン	3.0	0.50	-	-	
LR3	敷地外環境		3.2	0.30	2.9	1.00	2.9
1	地球温暖化への配慮	ライフサイクルCO2排出率70%	4.2	0.33	-	-	4.2
2	地域環境への配慮		2.3	0.33	-	-	2.3
	2.1 大気汚染防止	-	3.0	0.25	-	-	
	2.2 温熱環境悪化の改善	-	2.0	0.50	-	-	
	2.3 地域インフラへの負荷抑制		2.2	0.25	-	-	
	1 雨水排水負荷低減	-	3.0	0.25	-	-	
	2 汚水処理負荷抑制	-	3.0	0.25	-	-	
	3 交通負荷抑制	-	2.0	0.25	-	-	
	4 廃棄物処理負荷抑制	-	1.0	0.25	-	-	
3	周辺環境への配慮		3.2	0.33	-	-	3.2
	3.1 騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40	-	-	
	1 騒音	-	3.0	1.00	-	-	
	2 振動	-	-	-	-	-	
	3 悪臭	規制対象建物以外	-	-	-	-	
	3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制		3.0	0.40	-	-	
	1 風害の抑制	風害対策に対する要請がない。	3.0	0.70	-	-	
	2 砂塵の抑制	-	-	-	-	-	
	3 日照阻害の抑制	-	3.0	0.30	-	-	
	3.3 光害の抑制		4.4	0.20	-	-	
	1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	1)項目の過半を満す。2)広告物照明ない(添付書類:チェックリスト)	5.0	0.70	-	-	
	2 屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策	-	3.0	0.30	-	-	

CASBEE-建築(新築)2016年版

(仮称)プレサンスロジェ向日市寺戸町

評価する取組み	合計	合計2	No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6	No.7	No.8	No.9	No.10	No.11	No.12	No.13
Q2 サービス性能															
1.2.3 内装計画	1.0	1.0			○		-			○					
1.3.1 維持管理に配慮した設計	3.0		-	-	-	○	-	○	-			○			
1.3.2 維持管理用機能の確保	4.0						○	-			○	○		○	-
2.4.1 空調・換気設備	-		○	-	-	-	-	-							
2.4.2 給排水・衛生設備	2.0	2.0	○	○	-	-	-	-							
2.4.3 電気設備	1.0	-	-	-	-	○	-	-							
2.4.5 通信・情報設備	2.0		○	-	○	-	-	-							
Q3 室外環境(敷地内)															
1 生物資源の保全と創出	1.0		-	-	-	-	-	-	1.0	-	-	-	-		
2 まちなみ・景観への配慮	3.0		2.0	1.0	-	-	-	-							
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	2.0		-	-	-	-	1.0	1.0	-	-					
3.2 敷地内温熱環境の向上	5.0		-	1.0	-	-	-	-	-	2.0	2.0				
LR1 エネルギー															
2 自然エネルギー利用	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
LR2 資源・マテリアル															
1.2.2 雑排水等再利用システム導入の有無	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.1 材料使用量の削減	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	1.0		○	-	-	-	-	-							
3.1 有害物質を含まない材料の使用	1.0		-	-	-	-	-	-							
LR3 敷地外環境															
2.2 温熱環境悪化の改善	4.0		-	-	-	-	-	-	-	1.0	3.0	-			
2.3.3 交通負荷抑制	1.0		1.0	-	-	-	-	-							
2.3.4 廃棄物処理負荷抑制	1.0		1.0	-	-	-	-	-							
3.2.2 砂塵の抑制	-		-	-	-	-	-	-							
3.3.1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	4.0		2.0	2.0	-	-	-	-							

主な指標		窓システムSC		窓の日射熱取得率(η)	
Q1 室内環境		-		-	
2.1.3 外皮性能		U値(W/m2K)	窓システム	屋根	外壁
		住戸部分	窓システムU値	外皮UA値	η AC
		床			η AH
3.1.1 昼光率		昼光率	0.3%		
4.2.2 自然換気性能		自然換気有効開口面積率	0.0%		
Q2 サービス性能		執務スペース	0.0㎡/人	病床	8.0㎡/床
1.1.1 広さ・収納性		シングル	0.0㎡ ツイン		0.0㎡
1.1.2 高度情報通信設備対応		コンセント容量	0.0 VA/㎡		
1.2.1 広さ感・景観		天井高	2.4 m		
1.2.2 リフレッシュスペース		リフレッシュスペース	0.5%	レストスペース	2.0%
2.2.1 躯体材料の耐用年数		想定耐用年数	25~30 年		
2.2.2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		想定必要間隔	15 年		
2.2.3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		想定必要間隔	0 年		
2.2.6 主要設備機器の更新必要間隔		想定必要間隔	0 年		
3.1.1 階高のゆとり		階高	2.81m(2.8m)		
3.1.2 空間の形状・自由さ		壁長さ比率	0.0%		
3.2 荷重のゆとり		床荷重	- N/m2		
Q3 室外環境(敷地内)		外構緑化指数	9%	建物緑化指数	0%
1 生物資源の保全と創出		空地率	55%	水平投影面積率	0%
3.2 敷地内温熱環境の向上		地表面対策面積率	13%	舗装面積率	157%
LR1 エネルギー		BPI/BPI _m	1.50	断熱等性能等級	等級4 相当
1 建物外皮の熱負荷抑制		自然エネルギー直接利用量	0 MJ/年㎡	採光を満たす教室数	0.0%
2 自然エネルギー利用				採光を満たす住戸数	100.0%
				通風を満たす教室数	0.0%
				通風を満たす住戸数	100.0%
3 設備システムの高効率化		BPI/BPI _m	非住宅 0.08	住宅 0.99	太陽光 0.0kW
				太陽熱等 0.0kW	蓄電池 0.0kW
LR2 資源・マテリアル		雨水利用率	0.0%		
1.2.1 雨水利用システム導入の有無		特定調達品目	発泡ウレタン断熱・エコマーク商品	-	自治体指定の特定品目等 府産木材
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		使用比率	0.0%		
2.5 持続可能な森林から産出された木材		オゾン層破壊係数(ODP)		地球温暖化係数(GWP)	
3.2.1 消火剤		オゾン層破壊係数(ODP)	0	地球温暖化係数(GWP)	3
3.2.2 発泡剤(断熱材等)		オゾン層破壊係数(ODP)		地球温暖化係数(GWP)	
3.2.3 冷媒					
LR3 敷地外環境		見付面積比	0%	階層間隔指標R _w	-
2.2 温熱環境悪化の改善		地表面対策面積率	0.0%	屋根面対策面積率	0.0%
		外壁面対策面積率	#DIV/0!		
		見付面積S _b	㎡	卓越風向と直交する最大敷地幅W _s	0 m
		基準高さH _b	0 m		
		緑地	88㎡	水面	㎡
		保水性対策面	㎡	高反射対策面	㎡
		再帰性反射対策面	㎡		㎡